

候補地域 審査結果

※「鋸山 石に刻まれた人々の営み」の審査結果については、点数評価プロセスの実施後に発表。

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

総合評価	可
------	---

II. 取組内容に関する評価

総合評価	不可
------	----

日本遺産を通じた地域活性化計画 評価概要

総合評価	■ 花街文化の性質がクローズであるのに対し、日本遺産は広く一般観光客に発信・提供していくことが本質であることから、市民を巻きこんだ日本遺産としての取組の検討が必要。 ■ 花街の継承や振興に加えて、日本遺産の役割・意義を踏まえた計画・取組が望まれる。 ■ 京都中心部のオーバーツーリズムの課題がある中で、日本遺産の認定を受けてどのように地域活性化を図っていくかの具体化が求められる。
------	--

評価結果

評価結果	候補地域継続
評価理由および今後に向けた改善点	■ 花街文化そのものの価値は認められるものの、日本遺産ストーリーを活用して地域活性化を図るという趣旨に照らした場合、花街文化をどのように観光誘客や地域活性化に結び付けていくのかが不明確である。 ■ また、地域活性化計画の記載内容については、京都市の文化財保存活用地域計画との整合性は図られているが、日本遺産ストーリーに基づく独自のアクションプランとなっていない。 ■ 過去のフィードバックを踏まえた改善点も十分に確認できず、地域活性化計画、ストーリー及び文化発信の位置付けについて、根本的な見直しが必要である。 ■ 現地調査の結果、地域活性化計画における連携対象となる関係者は依然として花街のごく一部の関係者に限定されているように見受けられたので、観光や商品開発など広く開かれた活用を図るために、さらに幅広い関係者とも連携すべき。